旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年１１月１３日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌３３６「いかに恐るべき」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌３２７「村の小さき教会」	一　同
教会学校	紙芝居「約束の地へ」	牧　師
讃　　美	聖歌５０５「恵みある主」	一　同
聖書朗読	エゼキエル20:1-7	
奨　　励	エゼキエル書の福音(第6回)	牧　師
主　　題	**「数えよう、神の恵み」**	
讃　　美	聖歌642「望みも消えゆくまでに」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌376「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**エゼキエル書第 24 章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
11/13(日)聖日礼拝
/14(月)
/15(火)
/16(水)10-12:OBSｸﾗｽ
/17(木)10:00聖研
/18(金)
/19(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト　「19歳で修練士だったころ…」

ある方から霊の導きを得ようとしました。この方の兄上は瞑想を職業としていました。師自身は清濁あわせ呑む魅力を持っていました。人には優しい、教養のかたまりといった人物で、おもねることなく、指導する者として相手を温かく包み込むことができる、そんな方でした。しきたりに従い、わたしは師の前で床にひれ伏し、起きあがるようにとの合図で、自分のスカプラリオ(袖なしの肩衣)に接吻をしました。

「瞑想の本をずっと読んでいるのですが」と私は口を開きました。「本によれば、最良の方法はキリストと会話することだそうです。試みてはいるのですが、私がやっていることは、ただ話掛けているだけのように思えるのです」。

「何かが聞こえるまで、ただただ聞き続けること」と師は言うのです。口にされたのは、それだけです。

３４年の歳月が流れました。その間、一度もお会いしていません。思いがけなく師だった方から便りをいただいて、それで彼の修道院に伺いました。昔と変わらずさりげなくユーモアを言われ、以前にもまして教養豊かになられ、あのころには見られなかった落ち着きも備えられた、とお見受けしました。教える者と教わる者という関係がなくなっていたためでしょうか、私は彼に強い愛情を覚え、青春期の私に教えてくださったことの素晴らしさを改めて噛みしめました。

私も、ユングやフィチーノ、イェーツ、リルケ、ディキンソンと読んできて、瞑想しながら聴く術を悟りました。話をやめて待ち、本当に聴く術を身につけるまでに30年かかったということです。本当に素晴らしい悟りは、自分にはまだ修練士時代の師がいてくださると知り得たことです。

ﾄﾏｽ･ﾑｰｱ著「ﾒﾃﾞｨﾃｰｼｮﾝ －ゆっくり生きるための修道士の知恵－」(時事通信社,1997)より